



2026年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月15日
東

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所
 コード番号 3134 URL <https://hamee.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水島 育大
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画部マネージャー (氏名) 國井 俊樹 (TEL) 0465-25-0260
 定時株主総会開催予定日 2026年7月29日 配当支払開始予定日 2026年7月30日
 有価証券報告書提出予定日 2026年7月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (2026年6月16日に機関投資家・アナリスト向けに開催予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期の連結業績(2025年5月1日~2026年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|----------|------|---------------|-------|----------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年4月期 | 22,073 | △3.6 | 983 | △58.2 | 761 | △67.6 | 541 | △57.6 |
| 2025年4月期 | 22,895 | 30.0 | 2,354 | 22.8 | 2,352 | 16.5 | 1,278 | 13.9 |
| (注) 包括利益 | 2026年4月期 | | 777百万円(3.5%) | | 2025年4月期 | | 751百万円(△51.3%) | |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2026年4月期 | 33.85 | 33.83 | 6.1 | 5.0 | 4.5 |
| 2025年4月期 | 80.15 | 80.13 | 12.4 | 14.9 | 10.3 |

(参考) 持分法投資損益 2026年4月期 △203百万円 2025年4月期 △26百万円

(注) NE株式会社の連結除外による構造的な減少が含まれております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年4月期 | 13,574 | 7,319 | 53.5 | 453.48 |
| 2025年4月期 | 16,972 | 10,570 | 61.8 | 657.39 |

(参考) 自己資本 2026年4月期 7,256百万円 2025年4月期 10,486百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2026年4月期 | △107 | △478 | 106 | 1,812 |
| 2025年4月期 | 860 | △922 | 1,137 | 4,993 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|-----------|----------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2025年4月期 | — | 0.00 | — | 22.50 | 22.50 | 358 | 28.1 | 3.5 |
| 2026年4月期 | — | 0.00 | — | 22.50 | 22.50 | 360 | 66.5 | 4.1 |
| 2027年4月期(予想) | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | | 21.2 | |

3. 2027年4月期の連結業績予想(2026年5月1日~2027年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| 通 期 | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----|--------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| | 22,817 | 3.4 | 502 | △48.9 | 369 | △51.5 | 230 | △57.4 | 14.13 |

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名)、除外 1社(社名)NE株式会社

(注) 詳細は、添付資料P16「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2026年4月期 | 16,328,100株 | 2025年4月期 | 16,296,400株 |
| 2026年4月期 | 327,099株 | 2025年4月期 | 344,675株 |
| 2026年4月期 | 15,988,834株 | 2025年4月期 | 15,945,075株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年4月期の個別業績(2025年5月1日~2026年4月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|-------|------|-------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年4月期 | 16,371 | 4.7 | 256 | △47.8 | 695 | △21.4 | 622 | 39.9 |
| 2025年4月期 | 15,637 | 42.2 | 491 | — | 884 | 161.3 | 444 | 56.6 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2026年4月期 | 38.92 | | 38.90 | | | | | |
| 2025年4月期 | 27.90 | | 27.90 | | | | | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|-------|--|-------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 2026年4月期 | 9,083 | | 3,941 | | 42.7 | | 242.32 | |
| 2025年4月期 | 8,690 | | 3,620 | | 40.7 | | 221.70 | |

(参考) 自己資本 2026年4月期 3,877百万円 2025年4月期 3,536百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P6「1. 経営成績の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、決算説明に関する動画を当社ウェブサイト (<https://hamee.co.jp/ir/library/video>) にて配信予定です。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 5 |
| (4) 今後の見通し | 6 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 7 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 8 |
| (1) 連結貸借対照表 | 8 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 12 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 14 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 16 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 16 |
| (連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) | 16 |
| (企業結合等関係) | 17 |
| (セグメント情報等) | 18 |
| (1株当たり情報) | 22 |
| (重要な後発事象) | 22 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、高水準の賃金上昇を背景とした個人消費の持ち直しや、企業の堅調な設備投資需要に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇や金融・資本市場の変動に加え、依然として緊迫が続く中東情勢を背景とした原材料価格および物流コストの高止まり、ならびに円安基調の継続等、先行きについては不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下で、当社グループにおきましては、2025年11月4日付「NE株式会社の東京証券取引所上場に関するお知らせ」とおり、NE株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピノフ）を実施いたしました。これにより同社は当社の連結子会社ではなくなりました。そのため、プラットフォームセグメントの業績寄与は中間連結会計期間までとなります。

当連結会計年度における当社グループのセグメントごとの経営成績は次のとおりとなりました。

① コマースセグメント

a. モバイルライフ事業

スマートフォンアクセサリ市場におきましては、海外勢を含む競合ブランドの台頭等により、ECを中心に競争が一段と激化いたしました。このような環境下において当社は、新シリーズ「BeBling 2」のリリース、Netflix「ストレンジャー・シングス」やMika Pikazo氏等とのコラボレーションを実行し、原宿フラッグシップ店舗および家電量販店等での店頭プレゼンスを高め、Z世代を中心とするユーザー基盤の維持・強化に取り組みました。

EC・卸の両チャネルともに競争が一段と激化する環境のもと、自社公式オンラインストアにおける顧客基盤の強化と、家電量販店等の主要販路における店頭でのブランド体験の訴求を両輪で進め、販売基盤の拡大に努めました。あわせて、モバイルバッテリー等の通電系アクセサリを次期の重点成長領域と位置づけ、商品開発および販売体制の構築を進めております。

これらの結果、当事業の売上高は前期比1.5%減となりました。なお、次期におきましては、新シリーズの本格展開等、中長期的な成長基盤の構築に向けた取り組みを進めてまいります。

b. コスメティクス事業（次期より「ビューティー事業」へ名称変更）

コスメティクスブランド「ByUR（バイユア）」につきましては、主要ドラッグストアチェーンを中心としたベースメイクカテゴリーの取扱店舗の大幅な拡大に加え、EC販売および卸販売ともに好調に推移いたしました。ベースメイクカテゴリーは、日本人の肌質に合わせた仕上がり幅広い顧客層から支持を集め、取扱店舗網の拡大とあいまってブランド全体のトップラインを力強く牽引し、「ByUR」はベースメイク領域における主要ブランドとしてのポジションを着実に確立いたしました。また、仕入条件の改善等により商品原価率が改善し、事業全体の収益基盤の強化も着実に進捗いたしました。シートマスクおよびスキンケアカテゴリーにつきましては、引き続き商品力の強化と販路の最適化に取り組んでまいります。

また、複数ブランドによる事業ポートフォリオの構築を企図し、新ブランド「ByGLOW（バイグロー）」をローンチし、立ち上げ初期として一定の手応えを得ることができました。次期以降は、本ブランドの認知拡大と商品ラインナップの拡充に向けた先行投資を継続いたします。

これらの結果、コスメティクス事業全体の売上高は前期比30.4%増となりました。次期より、複数ブランド体制への移行を踏まえ、事業名称を「ビューティー事業」へ変更いたします。なお、次期におきましては、主軸「ByUR」のさらなる成長と「ByGLOW」のブランド基盤構築、ならびに新カテゴリー・新ブランドの仕込みを並行して推進し、複数ブランドによる強固な事業ポートフォリオの確立を目指してまいります。

c. ゲーミングアクセサリ事業

Pixioブランドを取り扱うゲーミングアクセサリ事業におきましては、前期に大型ゲームタイトルの発売等を背景に拡大した需要が一巡したことに加え、各社の供給過剰が重なり、大手メーカーによる積極的な値下げが続く厳しい価格競争環境が継続いたしました。また、競合各社の広告投資の積極化により、ECを中心とした広告オークションの競争も一段と激化いたしました。

このような市場環境のもと、モニターアームをはじめとする周辺アクセサリの販売が前期比で大きく伸長し、デスクやチェア等の新カテゴリへの展開も進めたことで、モニター単体に依存しない事業構造への転換を着実に進めました。また、「Amazonマーケットプレイスアワード2025」におけるカテゴリ賞の受賞や、初音ミク・ディズニー等の有力IPとのコラボレーション、初のファンミーティング開催等を通じて、ブランド資産およびファンコミュニティの形成も着実に進捗いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は前期比5.0%減となりました。なお、次期におきましては、価格・スペック競争に依拠しないPixio独自の世界観・空間コーディネート提案にリソースを集中し、「自分だけの理想のデスク環境を叶える」ライフブランドとしての確立を目指してまいります。

d. グローバル事業

韓国・米国・中国市場におきましては、EC・卸販売チャネルの双方における販路開拓を進め、自社ブランドのグローバル展開に継続して取り組んでまいりました。

韓国におきましては、当社グループの生産拠点として、日本向け商材の販売拡大に連動して生産・供給面も伸長いたしました。韓国国内市場では、TOY（玩具）カテゴリが人気IPとのコラボレーションや展示会・ポップアップストアの開催等を通じてブランド資産を蓄積するとともに、日本市場で好調なゲーミングモニターの取扱いを新たに開始したことが、トップラインの伸長に貢献いたしました。

米国市場におきましては、EC・卸販売の双方で堅調に推移したものの、米国関税政策の動向や為替変動等、外部環境の不確実性は引き続き継続いたしました。

中国市場におきましては、TOYカテゴリを中心に、雑貨店・書店等のオフラインチャネルでの新規入店が進捗し、BtoB取引先数も拡大したことで増収を実現いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は前期比11.3%増となりました。なお、次期におきましては、米国・韓国・中国の三極を軸とした自社ブランドのグローバル展開をさらに加速させるとともに、外部環境の不確実性への耐性強化に継続して取り組んでまいります。

これらの結果、コマースセグメントの当連結会計年度の売上高は20,095,056千円(前連結会計年度比5.8%増)、営業利益は1,386,435千円(同35.8%減)となりました。

② プラットフォームセグメント

2025年11月4日付「NE株式会社の東京証券取引所上場に関するお知らせ」のとおり、NE株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）により、同社は当社の連結子会社ではなくなりました。そのため、2025年11月以降の第3四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間においてプラットフォームセグメントの業績は含まれず、当期の業績としては中間連結会計期間までとなります。

これらの結果、プラットフォームセグメントの当連結会計年度の売上高は1,987,978千円(前連結会計年度比49.4%減)、営業利益は1,013,634千円(同51.3%減)となりました。

③ 各段階利益について

a. 営業利益

営業利益につきましては、前連結会計年度との比較では、当社の連結子会社でありましたNE株式会社が株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）により連結の範囲から除外されたことを主因として、減益となりました。なお、継続する事業におきましても、特に好調であった前期からの反動や、米国における関税をはじめとする外部環境の影響等を受けましたが、商品評価損の減少等による原価の改善、本部費用を含む全社的な費用の管理、新規事業における損失の縮小、ならびに海外子会社の業績の寄与により、2025年12月15日付で公表した業績予想を上回る983,957千円（前期比58.2%減）となりました。

b. 経常利益

経常利益につきましては、前連結会計年度との比較では、上記のNE株式会社の連結除外をはじめとする営業利益の減少に加え、持分法による投資損失が拡大したことにより、減益となりました。一方、主として営業利益が業績予想を上回ったことを受け、経常利益は業績予想を上回る761,991千円（前期比67.6%減）となりました。

c. 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前連結会計年度との比較では、上記の営業利益および経常利益の減少要因（NE株式会社の連結除外等）を反映し減益となりました。一方、営業利益および経常利益が業績予想を上回ったことに加え、特別損失および税金費用が当初想定を下回ったこと等により、業績予想を上回る541,256千円（前期比57.6%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は22,073,528千円（前連結会計年度比3.6%減）、営業利益は983,957千円（同58.2%減）、経常利益は761,991千円（同67.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は541,256千円（同57.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当連結会計年度末における総資産は、前述の株式分配型スピンオフにより大きく変動するところとなり、前連結会計年度末に比べ3,398,111千円減少し13,574,479千円（前年度比20.0%減）となりました。

① 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3,246,187千円減少し、10,175,668千円（前年度比24.2%減）となりました。これは主に、商品が116,222千円増加した一方、現金及び預金が3,181,507千円及び売掛金が222,711千円減少したこと等の結果によるものであります。

② 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ151,923千円減少し、3,398,810千円（同4.3%減）となりました。これは主に、使用権資産が467,539千円増加した一方、ソフトウェアが196,085千円、建物及び構築物が166,208千円、関係会社株式が104,147千円及び工具、器具及び備品が102,440千円減少したこと等の結果によるものであります。

③ 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ657,106千円減少し、5,600,447千円（同10.5%減）となりました。これは主に、短期借入金が250,000千円増加した一方、未払法人税等が483,452千円及び未払金340,360千円減少したこと等の結果によるものであります。

④ 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ509,300千円増加し、654,214千円（同351.4%増）となりました。これは主に、その他が528,123千円増加したことなどの結果によるものであります。

⑤ 純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3,250,305千円減少し、7,319,817千円（同30.7%減）となりました。これは主に、為替換算調整勘定が236,640千円増加した一方、利益剰余金が3,545,365千円減少したこと等の結果によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額2,779,847千円と合わせて、前連結会計年度末に比べ3,181,507千円減少し、1,812,064千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は107,353千円(前連結会計年度は860,373千円の収入)でありました。これは主に、税金等調整前当期純利益733,140千円、減価償却費699,914千円、未払金の増加274,677千円等の収入要因に対し、法人税等の支払い651,336千円、売上債権の増加519,979千円、立替金の増加416,295千円等の支出要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は478,827千円(前連結会計年度は922,041千円の支出)でありました。これは主に、有形固定資産の取得302,682千円、無形固定資産の取得119,520千円等の支出要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は106,977千円(前連結会計年度は1,137,728千円の収入)でありました。これは主に、新株式申込証拠金の払込による収入345,000千円、短期借入金の純増加額250,000千円等の収入要因に対し、配当金の支払い358,914千円、リース債務の返済による支出159,745千円等の支出要因があったことによるものであります。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2022年4月期 | 2023年4月期 | 2024年4月期 | 2025年4月期 | 2026年4月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 77.6 | 72.0 | 69.3 | 61.8 | 53.5 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 171.5 | 129.5 | 130.5 | 114.8 | 54.6 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) | 0.5 | 1.9 | 2.5 | 4.5 | △38.2 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 400.6 | 65.4 | 33.9 | 25.9 | △1.4 |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
 4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

① 中期経営計画の策定

当社グループは、2025年11月に実施いたしましたNE株式会社の現物配当（株式分配型スピンオフ）を経て、コマース事業を中心とした新たなグループ体制（以下「新Hameeグループ」）としてスタートを切ったことを踏まえ、新Hameeグループとしての中長期的な成長戦略を改めて策定するため、新中期経営計画（2026年5月～2029年4月）を策定いたしました。

本中期経営計画におきましては、「クリエイティブ魂に火をつける」というPurpose/Passionのもと、「ZカルチャーSPAと脱炭素の両立」を全社の中核戦略と位置づけ、モバイルライフ事業（iFace）、ビューティー事業（ByUR／ByGLOW）、ゲーミングアクセサリー事業（Pixio）、グローバル事業の各事業を主たる成長ドライバーとし、企画から販売までを垂直統合する「ZカルチャーSPA」によって価値創造モデルの完成度を高めてまいります。

本中期経営計画における連結ベースの数値計画は以下のとおりです。

| 主要指標 | 2027年4月期 (計画) | 2028年4月期 (計画) | 2029年4月期 (計画) | 3年CAGR |
|-----------|------------------|------------------|------------------|--------|
| 売上高（百万円） | 22,817 | 27,106 | 30,889 | +15.4% |
| 事業利益（百万円） | 1,850 | 2,534 | 3,325 | — |

※ 「事業利益」は、営業利益に本部費用（コーポレート部門の販管費等）を加え戻した利益指標であり、従来のセグメント利益と算出方法を同一としております（2027年4月期より単一セグメントとなったことに伴い「セグメント利益」から「事業利益」へ呼称変更）。

事業別の2029年4月期売上目標および年平均成長率は以下のとおりです。

| 事業 | 2029年4月期 売上目標（百万円） | 年平均成長率（CAGR） |
|--------------------------|--------------------|--------------|
| モバイルライフ事業（iFace） | 10,460 | 約8.3% |
| ビューティー事業（ByUR／ByGLOW） | 8,650 | 約24.7% |
| ゲーミングアクセサリー事業 （Pixio） | 4,640 | 約9.6% |
| グローバル事業 | 7,139 | 約24.1% |
| 合計 | 30,889 | +15.4% |

なお、当該計画の前提となる事項は以下のとおりです。

(i) モバイルライフ事業（iFace）

本中期経営計画におきましては、当事業を引き続き当社グループの中核事業の一つと位置づけ、スマートフォンケースを主力としつつ、新たに通電カテゴリー（充電器・モバイルバッテリー等の電源・通電領域）への本格参入を進めてまいります。Z世代を中心とする強固な顧客基盤に支えられたブランド資産を活かしつつ、Daily LineとUnique Lineの二軸戦略によりブランドパワーを強化し、公式チャネルおよびCRMの強化による指名買いの育成を推進いたします。これらの取り組みを通じて、2029年4月期において売上高10,460百万円（年平均成長率約8.3%）の達成を目指してまいります。

(ii) ビューティー事業 (ByUR/ByGLOW)

当事業におきましては、主軸ブランド「ByUR」の構造改革（原価低減および販売費及び一般管理費の最適化）による収益基盤の強化と、新ブランド「ByGLOW」への戦略的な先行投資を並行して推進し、単一ブランドから複数ブランドによる収益ポートフォリオ体制への移行を進めてまいります。「ByUR」につきましては、ベースメイクカテゴリーの安定成長およびシートマスクカテゴリーへの積極投資を継続いたします。あわせて、新カテゴリー・新ブランドの仕込みも並行して進めることで、強固な事業ポートフォリオの構築を推進してまいります。これらの取り組みを通じて、2029年4月期において売上高8,650百万円（年平均成長率約24.7%）の達成を目指してまいります。

(iii) ゲーミングアクセサリ事業 (Pixio)

当事業におきましては、価格・スペック競争には参加せず、「インテリアに溶け込む洗練されたデザイン」と「空間全体のトータルコーディネート」という情緒的価値で独自のポジションを開拓してまいります。モニター中心の事業構造から、モニターアーム・デスク・チェア等の周辺アクセサリおよび家具カテゴリーへの本格展開を進めるとともに、IPコラボレーションおよびファンコミュニティの形成を通じた模倣困難なブランド資産の構築を推進いたします。これらの取り組みを通じて、2029年4月期において売上高4,640百万円（年平均成長率約9.6%）の達成を目指してまいります。

(iv) グローバル事業

当事業におきましては、海外売上拡大に加え、各ブランドの成長を支える販売・物流・マーケティング・サプライチェーン・価格戦略といった「実行インフラ」を担う役割と位置づけ、米国市場における「ByUR」展開、韓国市場におけるゲーミングアクセサリ展開等を通じた自社ブランドの販売拡充、SPAモデルの推進による高収益体制の維持、ならびに需要予測および大型3PLの活用による物流の非効率解消等を進めてまいります。これらの取り組みを通じて、2029年4月期において売上高7,139百万円（年平均成長率約24.1%）の達成を目指してまいります。

② 2027年4月期通期業績予想

前述の中期経営計画に則り、現時点において、2027年4月期の連結業績を以下のとおり予想しております。

なお、2026年4月期の連結業績には、第2四半期累計までプラットフォーム事業（NE株式会社）の業績が含まれております。このため下表では、同社の影響を除外した2026年4月期実績を併記し、増減額および前年比は当該除外後実績との比較により記載しております。除外後実績との比較では増収増益となる一方、連結実績との比較では、同社の連結除外に伴う構造的な減少に加え、成長に向けた先行的な投資の継続により、各段階利益は減少する見込みであります。

| 連結業績概況 | 実績 | 実績 (NE除外) | 業績予想 | | |
|-------------|----------|-----------|----------|-------|-------|
| | 2026年4月期 | 2026年4月期 | 2027年4月期 | 増減額 | 前年比 |
| 売上高 (百万円) | 22,073 | 20,095 | 22,817 | 2,722 | 13.5% |
| 売上原価 (百万円) | 9,142 | 8,572 | 9,427 | 855 | 10.0% |
| 売上総利益 (百万円) | 12,930 | 11,522 | 13,389 | 1,866 | 16.2% |
| 営業利益 (百万円) | 983 | 260 | 502 | 241 | 92.8% |

※今後の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社グループの当期の連結業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年4月30日) | 当連結会計年度 (2026年4月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,993,572 | 1,812,064 |
| 売掛金 | 2,352,311 | 2,129,599 |
| 商品 | 4,145,508 | 4,261,730 |
| 仕掛品 | 5,514 | 2,330 |
| 原材料及び貯蔵品 | 121,166 | 159,427 |
| 前渡金 | 982,551 | 1,018,896 |
| その他 | 857,682 | 945,980 |
| 貸倒引当金 | △36,450 | △154,362 |
| 流動資産合計 | 13,421,855 | 10,175,668 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 964,588 | 810,938 |
| 減価償却累計額 | △256,060 | △268,619 |
| 建物及び構築物(純額) | 708,527 | 542,319 |
| 車両運搬具 | 3,555 | 6,662 |
| 減価償却累計額 | △2,274 | △3,576 |
| 車両運搬具(純額) | 1,280 | 3,086 |
| 工具、器具及び備品 | 1,347,043 | 1,078,430 |
| 減価償却累計額 | △965,938 | △799,765 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 381,105 | 278,665 |
| 使用権資産 | 409,525 | 934,122 |
| 減価償却累計額 | △208,983 | △266,041 |
| 使用権資産(純額) | 200,542 | 668,081 |
| 土地 | 335,433 | 345,658 |
| 建設仮勘定 | 995 | — |
| 有形固定資産合計 | 1,627,885 | 1,837,810 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 280,363 | 183,851 |
| ソフトウェア | 244,947 | 48,861 |
| 商標権 | 21,317 | 24,142 |
| その他 | 61,667 | 67,516 |
| 無形固定資産合計 | 608,296 | 324,372 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,934 | 10,818 |
| 関係会社株式 | 548,367 | 444,219 |
| 長期貸付金 | 17,500 | 12,128 |
| 退職給付に係る資産 | 122,440 | 140,513 |
| 繰延税金資産 | 440,554 | 487,596 |
| その他 | 197,696 | 164,550 |
| 貸倒引当金 | △22,940 | △23,199 |
| 投資その他の資産合計 | 1,314,553 | 1,236,628 |
| 固定資産合計 | 3,550,734 | 3,398,810 |
| 資産合計 | 16,972,590 | 13,574,479 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年4月30日) | 当連結会計年度 (2026年4月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 232,041 | 283,103 |
| 短期借入金 | 3,850,000 | 4,100,000 |
| 未払金 | 1,083,430 | 743,070 |
| 未払費用 | 271,625 | 177,066 |
| 未払法人税等 | 496,009 | 12,556 |
| 賞与引当金 | 69,334 | — |
| 資産除去債務 | 11,187 | — |
| その他 | 243,924 | 284,649 |
| 流動負債合計 | 6,257,553 | 5,600,447 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 40,988 | 22,165 |
| その他 | 103,926 | 632,049 |
| 固定負債合計 | 144,914 | 654,214 |
| 負債合計 | 6,402,467 | 6,254,661 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 607,419 | 635,617 |
| 資本剰余金 | 555,203 | 589,001 |
| 利益剰余金 | 9,519,286 | 5,973,921 |
| 自己株式 | △331,321 | △314,957 |
| 株主資本合計 | 10,350,589 | 6,883,583 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 135,876 | 372,516 |
| その他の包括利益累計額合計 | 135,876 | 372,516 |
| 新株予約権 | 83,657 | 63,717 |
| 純資産合計 | 10,570,122 | 7,319,817 |
| 負債純資産合計 | 16,972,590 | 13,574,479 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 22,895,350 | 22,073,528 |
| 売上原価 | 9,398,292 | 9,142,533 |
| 売上総利益 | 13,497,058 | 12,930,994 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,142,933 | 11,947,037 |
| 営業利益 | 2,354,124 | 983,957 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,768 | 8,247 |
| 受取補償金 | 29,024 | 43,781 |
| 為替差益 | 8,539 | 82,730 |
| その他 | 80,755 | 30,558 |
| 営業外収益合計 | 122,087 | 165,318 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33,254 | 76,449 |
| 支払保証料 | 7,733 | 7,349 |
| 持分法による投資損失 | 26,248 | 203,092 |
| 貸倒引当金繰入額 | 8,319 | 83,805 |
| その他 | 47,719 | 16,586 |
| 営業外費用合計 | 123,276 | 387,284 |
| 経常利益 | 2,352,935 | 761,991 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 4,182 |
| 投資有価証券売却益 | 642 | 10 |
| 新株予約権戻入益 | 3,774 | — |
| 固定資産受贈益 | — | 290 |
| 特別利益合計 | 4,416 | 4,483 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 44,752 | — |
| 固定資産除却損 | 14,897 | 15,011 |
| 投資有価証券売却損 | 1,532 | 22 |
| 投資有価証券評価損 | 21,727 | 85 |
| 関係会社株式評価損 | 283,321 | 18,214 |
| 特別損失合計 | 366,231 | 33,333 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,991,120 | 733,140 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 791,233 | 245,764 |
| 法人税等調整額 | △78,137 | △53,880 |
| 法人税等合計 | 713,096 | 191,884 |
| 当期純利益 | 1,278,023 | 541,256 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,278,023 | 541,256 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 1,278,023 | 541,256 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △66,665 | — |
| 為替換算調整勘定 | △459,429 | 236,640 |
| その他の包括利益合計 | △526,094 | 236,640 |
| 包括利益 | 751,929 | 777,896 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 751,929 | 777,896 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 598,524 | 545,014 | 8,599,706 | △341,799 | 9,401,446 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 8,895 | 8,895 | | | 17,790 |
| 剰余金の配当 | | | △358,443 | | △358,443 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,278,023 | | 1,278,023 |
| 自己株式の処分 | | 1,294 | | 10,477 | 11,772 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 8,895 | 10,189 | 919,580 | 10,477 | 949,142 |
| 当期末残高 | 607,419 | 555,203 | 9,519,286 | △331,321 | 10,350,589 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|--------------|-----------------------|---------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 66,665 | 595,305 | 661,971 | 93,721 | 10,157,139 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | 17,790 |
| 剰余金の配当 | | | | | △358,443 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 1,278,023 |
| 自己株式の処分 | | | | | 11,772 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △66,665 | △459,429 | △526,094 | △10,064 | △536,158 |
| 当期変動額合計 | △66,665 | △459,429 | △526,094 | △10,064 | 412,983 |
| 当期末残高 | — | 135,876 | 135,876 | 83,657 | 10,570,122 |

当連結会計年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|------------|----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 607,419 | 555,203 | 9,519,286 | △331,321 | 10,350,589 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 28,197 | 28,197 | | | 56,394 |
| 剰余金の配当 | | | △359,914 | | △359,914 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 541,256 | | 541,256 |
| 自己株式の取得 | | | | △35 | △35 |
| 自己株式の処分 | | 5,600 | | 16,399 | 22,000 |
| 子会社株式の配当に伴う増減 | | | △3,726,707 | | △3,726,707 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 28,197 | 33,797 | △3,545,365 | 16,364 | △3,467,005 |
| 当期末残高 | 635,617 | 589,001 | 5,973,921 | △314,957 | 6,883,583 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|---------------|---------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | — | 135,876 | 135,876 | 83,657 | 10,570,122 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | 56,394 |
| 剰余金の配当 | | | | | △359,914 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 541,256 |
| 自己株式の取得 | | | | | △35 |
| 自己株式の処分 | | | | | 22,000 |
| 子会社株式の配当に伴う増減 | | | | | △3,726,707 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | — | 236,640 | 236,640 | △19,939 | 216,700 |
| 当期変動額合計 | — | 236,640 | 236,640 | △19,939 | △3,250,305 |
| 当期末残高 | — | 372,516 | 372,516 | 63,717 | 7,319,817 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,991,120 | 733,140 |
| 減価償却費 | 702,583 | 699,914 |
| 上場関連費用 | — | 11,392 |
| 減損損失 | 44,752 | — |
| のれん償却額 | 113,770 | 106,762 |
| 固定資産除却損 | 14,897 | 15,011 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | — | △4,182 |
| 関係会社株式評価損 | 283,321 | 18,214 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 21,727 | 85 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | 1,532 | 12 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △8,954 | 124,797 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 56,937 | △72,607 |
| 退職給付に係る資産・負債の増減額 | 33,931 | △14,573 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,768 | △8,247 |
| 支払利息 | 33,254 | 76,449 |
| シンジケートローン手数料 | 33,083 | 998 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 26,248 | 203,092 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △64,572 | △519,979 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,511,457 | △155,799 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △110,971 | 29,097 |
| 前渡金の増減額 (△は増加) | △360,018 | △32,078 |
| 立替金の増減額 (△は増加) | 6,930 | △416,295 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △20,368 | △194,359 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 107,323 | 274,677 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 49,400 | △3,983 |
| その他 | 172,885 | △287,840 |
| 小計 | 1,613,590 | 583,699 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,240 | 8,105 |
| 利息の支払額 | △44,201 | △47,821 |
| 法人税等の支払額 | △713,255 | △651,336 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 860,373 | △107,353 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △602,461 | △302,682 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △180,875 | △119,520 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △19,998 | — |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 18 |
| 短期貸付金の回収による収入 | — | 1,065 |
| 関係会社への短期貸付けによる支出 | — | △35,000 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 2,216 | 5,483 |
| 関係会社への長期貸付による支出 | △50,000 | — |
| その他 | △70,921 | △28,191 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △922,041 | △478,827 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 2,650,000 | 250,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △984,980 | — |
| リース債務の返済による支出 | △146,006 | △159,745 |
| 株式の発行による収入 | 10,242 | 36,455 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △35 |
| 新株式申込証拠金の払込による収入 | — | 345,000 |
| 配当金の支払額 | △358,443 | △358,914 |
| シンジケートローン手数料の支払額 | △33,083 | △998 |
| 上場関連費用の支出 | — | △4,783 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,137,728 | 106,977 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △104,164 | 77,543 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 971,896 | △401,660 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,021,675 | 4,993,572 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | — | △2,779,847 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,993,572 | 1,812,064 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

連結の範囲に関する事項

1. 連結子会社の数 4社

連結子会社の名称

Hamee Global Inc.

Hamee US, Corp.

Hamee India Pvt.Ltd.

Hamee Shanghai Tech & Trading Co., Ltd.

2025年11月1日付の株式分配型スピンオフによりNE株式会社を当社の連結範囲から除外しております。なお、連結除外日までの損益計算書については連結しております。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の関連会社数 2社

持分法適用関連会社の名称

ROOT株式会社

Pixio USA Inc.

(企業結合等関係)

現物配当による子会社の異動

当社は、当社が保有する連結子会社であるNE株式会社の全株式を、2025年11月1日付で現物配当（金銭以外の財産による配当）により当社株主に分配いたしました。

これにより、NE株式会社は当社の連結範囲から除外されました。

(1) 現物配当実施日

2025年11月1日

(2) 実施した会計処理の概要

① 会計処理

「事業分離等に関する会計基準」、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」及び「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針」に規定する個別財務諸表上及び連結財務諸表上の会計処理を適用しております。本現物配当により、移転損益は生じておりません。

② 分離した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

| | |
|------|-------------|
| 流動資産 | 4,444,530千円 |
| 固定資産 | 593,659千円 |
| 資産合計 | 5,038,190千円 |
| 流動負債 | 927,186千円 |
| 固定負債 | 38,308千円 |
| 負債合計 | 965,494千円 |

(3) 分離した事業が含まれていた報告セグメント

プラットフォームセグメント

(4) 当連結会計年度に係る連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

| | |
|------|-------------|
| 売上高 | 1,987,978千円 |
| 営業利益 | 723,350千円 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、事業活動を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、経済的特徴が類似している事業セグメントを集約した「コマース事業」「プラットフォーム事業」の2つを報告セグメントとしております。

「コマース事業」は主にモバイルアクセサリーやコスメティクス、ゲーミングモニターの商品企画、製造、仕入、販売をしております。「プラットフォーム事業」は、EC事業者の販売、在庫管理を支援するクラウド(SaaS)型EC Attractions「ネクストエンジン」及び販売支援コンサルティングサービスの提供をしております。

(注) プラットフォーム事業は、2025年11月1日付の株式分配型スピンオフによりNE株式会社を当社の連結範囲から除外しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|----------------|------------|------------|-----------------------|
| | コマース事業 | プラット フォーム事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 18,986,834 | 3,908,516 | 22,895,350 | — | 22,895,350 |
| 外部顧客への売上高 | 18,986,834 | 3,908,516 | 22,895,350 | — | 22,895,350 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 16,739 | 16,739 | △16,739 | — |
| 計 | 18,986,834 | 3,925,256 | 22,912,090 | △16,739 | 22,895,350 |
| セグメント利益 | 2,158,167 | 2,083,266 | 4,241,433 | △1,887,309 | 2,354,124 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 445,647 | 140,433 | 586,080 | 116,502 | 702,583 |
| のれんの償却額 | 109,569 | 4,201 | 113,770 | — | 113,770 |
| のれんの未償却残高 | 280,363 | — | 280,363 | — | 280,363 |

(注) 1. セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、記載を省略しております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|----------------|------------|------------|-----------------------|
| | コマース事業 | プラット フォーム事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 20,095,056 | 1,978,471 | 22,073,528 | — | 22,073,528 |
| 外部顧客への売上高 | 20,095,056 | 1,978,471 | 22,073,528 | — | 22,073,528 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 9,507 | 9,507 | △9,507 | — |
| 計 | 20,095,056 | 1,987,978 | 22,083,035 | △9,507 | 22,073,528 |
| セグメント利益 | 1,386,435 | 1,013,634 | 2,400,070 | △1,416,113 | 983,957 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 532,514 | 66,595 | 599,110 | 100,803 | 699,914 |
| のれんの償却額 | 106,762 | — | 106,762 | — | 106,762 |
| のれんの未償却残高 | 183,851 | — | 183,851 | — | 183,851 |

(注) 1. セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、記載を省略しております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。
3. プラットフォーム事業は、2025年11月1日付の株式分配型スピンオフによりNE株式会社を当社の連結範囲から除外しております。プラットフォーム事業に係る売上高、セグメント利益、その他の項目(減価償却費、のれんの償却額、のれんの未償却残高)の金額については連結除外日までの実績を含めております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | 北米 | アジア・オセアニア | その他地域 | 合計 |
|------------|-----------|-----------|---------|------------|
| 19,552,991 | 2,546,813 | 633,298 | 162,248 | 22,895,350 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域により区分しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

| 日本 | 韓国 | 米国 | その他アジア | 合計 |
|---------|-----------|---------|--------|-----------|
| 421,111 | 1,039,323 | 164,824 | 2,625 | 1,627,885 |

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | 北米 | アジア・オセアニア | その他地域 | 合計 |
|------------|-----------|-----------|---------|------------|
| 18,271,876 | 2,814,873 | 815,200 | 171,578 | 22,073,528 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域により区分しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

| 日本 | 韓国 | 米国 | その他アジア | 合計 |
|---------|-----------|--------|--------|-----------|
| 143,432 | 1,616,444 | 74,654 | 3,279 | 1,837,810 |

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 全社・消去 | 合計 |
|------|---------|----------------|--------|-------|--------|
| | コマース事業 | プラット フォーム事業 | 計 | | |
| 減損損失 | — | 44,752 | 44,752 | — | 44,752 |

当連結会計年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 657.39円 | 453.48円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 80.15円 | 33.85円 |
| 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | 80.13円 | 33.83円 |

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円) | 1,278,023 | 541,256 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額(千円) | 1,278,023 | 541,256 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 15,945,075 | 15,988,834 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) (うち新株予約権(株)) | 3,315 (3,315) | 9,004 (9,004) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 第5回新株予約権 133千株 | 第5回新株予約権 101千株 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。